

【看護部概要】

<看護部長挨拶>

当院のホームページをご覧くださいありがとうございます。

当院の看護部では、山梨病院の『だれでも いつでも 気持ちよく 安心してかかれる病院』理念、基本方針に基づいて、『誠実に看護を実践します』『私たちは、患者様の安全を守ります』『心への配慮に努めます』の理念のもと、予防から急性期医療、看取りまで切れ目のない包括ケアを実践しています。

看護師としての使命は、病気やけがと向き合う患者さんご家族の意思を尊重し、患者さんが心身共によりよい状態へと導けるように支援することだと考えます。「相手の意思を尊重し、その方にあった看護」を新人看護師でも経験豊富な看護師でも、今できることを考えて相手の望む形で、一生懸命実践することのできる看護師の育成・環境を提供していきたいと思えます。地域住民の皆様安心して利用していただける病院であり続けるよう看護部としてその役割を果たしていきます。

看護部長 認定看護管理者 小池由紀恵

<看護部の理念>

JCHO 山梨病院看護部は病院の理念と基本方針に基づいて誠実に看護を実践します。

私たちは ●患者様の安全を守ります。

●心への配慮に努めます

<勤務体制>

2交代 日勤 8:30~17:15 夜勤 15:30~8:45 ※早出・遅出あり

<看護方式>

チームナーシング+担当看護師制

<看護体制>

急性期一般病棟 7:1看護

地域包括ケア病棟 13:1看護

<各部署紹介>

地域包括ケア病棟



当病棟は、急性期医療の治療が終了したあとも、入院によるADL低下等により退院後の生活に不安がある患者様に対して、安心して在宅に戻れるように退院支援や退院調整を実践しています。また、自宅や施設等で具合が悪くなり緊急入院が必要となった患者様の入院を受け入れています。



入院前の生活により近い状態で退院できるように、専属の理学療法士によるリハビリや、看護師による生活リハビリを積極的に実践しています。

また、退院後の療養生活を見据えたマネジメントを行い、退院前後訪問により在宅状況を確認し、その人らしく住み慣れた地域で安心して生活が継続できるよう支援しています。

4階病棟

4階病棟は、整形外科・脳神経内科・呼吸器内科の患者を主として受け入れています。



整形外科では大腿骨頸部骨折・肩腱板断裂等、手術を必要とする患者様が多く入院しています。入院患者様は高齢者が多く、内科的疾患や、認知症がある場合や、一人暮らしや高齢者世帯であるため、身体的・社会問題を抱えていることがあります。手術に対する不安の軽減や痛みの緩和はもちろんのこと、寝たきりにならないよう、医師・看護師・PT・MSW等多職種と連携し、治療後も住み慣れた場所で安心した生活が送れるよう退院支援を行っています。

5階病棟 消化器センター

5階病棟は消化器病センターとして消化器内科・消化器外科の患者さんの入院を主に受けています。当院は県内でも数多くの内視鏡を実施しており、内視鏡的検査や治療を受ける患者さんが多く入院します。そのため比較的入院期間が短い病棟です。

また、当院は健康管理センターを併設しているため、健診で異常をみとめた患者さんが早期に内科的・外科的治療を受けるため入院してきます。

患者さんが安全に検査や治療を受け安心して在宅へ戻れるよう、専門的な知識技術を高め看護実践しています。



6階病棟



6階病棟は、循環器内科・乳腺外科・化学療法を受ける患者様の入院を受け入れています。

循環器疾患は、高齢者が多く再燃しやすいため、ADLが低下し地域とのサービス調整が必要となる場合が多くあります。そのため、患者様家族の思いを聞きMSWと協働し退院支援を行っています。

乳腺外科は手術を受ける患者様の不安が軽減できるよう、入院前に医師・外来看護師・医師・病棟看護師間でカンファレンスを開催し、情報を共有しています。退院後を見据えた問題や方策の共有まで行っています。

化学療法を受ける患者様には、安全・確実な看護実践を徹底するとともに、外来看護師との情報共有や医師との情報交換などの連携強化に努めています。

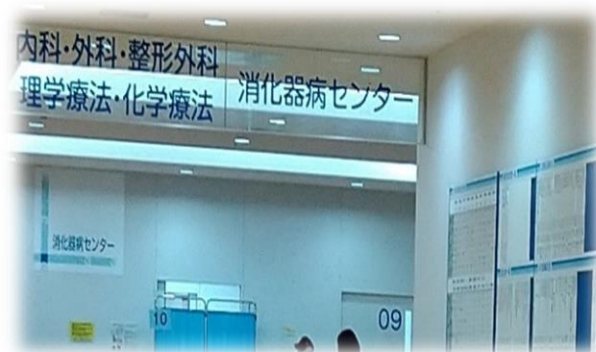
患者の看護のみではなく、家族看護や入退院支援が重要となるケースが多く、患者・家族が安心して住み慣れた地域で過ごせることを目標に、日々奮闘しています。

外来

当院の外来には、1日平均250人の患者が通院され、地域住民の方が多いです。病院理念の「**だれでも いつでも 気持ちよく 安心してかかれる病院**」を目標として医療を提供しています。

患者様が安心して治療や自宅療養が送れるよう多職種と協働することで様々な変化に対応し、その人らしいセルフマネジメントを支える看護実践に取り組んでいます。

外来には、がん薬物療法認定特定看護師、糖尿病看護認定看護師が所属し患者様への療



手術室・中央材料室



手術室の、年間手術件数は600件で、主に乳腺外科、消化器外科、整形外科の手術を実施しています。局所麻酔も含め全症例に対し術前訪問を行い、患者様やそのご家族の心に寄り添い手術に対する不安を軽減することに努めています。また、日々麻酔科医との術前カンファレンスにて、情報を共有することで、より安全な手術を提供できるようにしています。

全身麻酔症例に対しては、術後訪問も実施しており、患者様の一つ一つの声に向き合うことを心掛け、やさしさと思いやりの心で、安全・安心な看護を目指し、スタッフ一丸となって取り組んでいます。

内視鏡



内視鏡室は、消化器病センターの要となる部署で、年間の内視鏡検査数は約1万8千件と全国トップレベルの件数です。健康管理センターの健診者と・外来・入院患者の内視鏡検査・治療を行っています。上部内視鏡検査に加え、内視鏡的大腸ポリープ切除術、小腸鏡などの特殊検査や消化管出血に対する緊急対応を行っています。

内視鏡検査を受けられる方は健診者も患者も不安を抱えている方が多いので、声かけ・寄り添うことや、外来・病棟との連携を強化し情報の共有の行うことで、対象者が安心して内視鏡検査を受けられるように努力しています。内視鏡検査といえば山梨病院と言われるよう、優しさをモットーに内視鏡看護を実践しています。

健康管理センター

人間ドック・生活習慣病健診・特定保健指導などを実施しています。健診・保健指導を受けられる方は、10代の方から90代の方と年齢層も幅広く、その方々に合わせた対応を心がけています。「採血されるのが苦手」「胃カメラ検査が心配」などの検査に対する不安を訴える方も多いですが、健診を受ける方の訴えをしっかり傾聴し思いに寄り添うことで、安心して健診をうけられるよう努めています。

病院併設の健康管理センターであることを活かし、疾患の早期発見を行い、外来と連携し早期治療ができるよう対応しています。健康診断を受ける方との一期一会を大切に、確実で安心・安全な看護ができるよう、笑顔で日々の看護に取り組んでいます。



<JCHO 看護教育理念>

看護職者としての自立と成長を目指して学び続ける

<山梨病院看護教育理念>

地域包括ケアの視点を持ち統合的看護実践ができる

<統合的看護実践の能力>

対象を理解し、看護の原理・原則を活用できる看護実践応力

苦痛を緩和し、安全な医療を提供できる専門的技術能力

その人らしく生きることを支援する実践能力

<JCHO 看護師キャリアラダー>

JCHO のすべての病院では、共通のキャリアラダーに基づく院内教育体制を整備しています。

新人から中堅、ベテランまで、自分に合ったペースで成長していくことができます。

山梨病院でもキャリアラダーに沿った新人看護師実務研修やラダー研修を計画実施しています。また、院外研修の受講も積極的に支援しています。

JCHO 看護師キャリアラダー



新人看護職員実務研修

4月

- ・院内教育
- ・医療安全・感染看護
- ・採血・輸液管理
- ・抹消静脈血管確保

5月

- ・1か月の振り返り
- ・服薬管理・麻薬管理
- ・重症度、医療・看護必要度

6月

- ・口腔・鼻腔吸引
- ・急変時の看護

7月

- ・認知症の看護
- ・3か月の振り返り

8月

- ・緩和ケア

9月

- ・褥瘡予防
- ・輸血療法

11月

- ・6か月の振り返り

1月

- ・9ヶ月の振り返り

10月

- ・心電図

12月

- ターミナルケア

3月

- ・看護倫理・事例検討
- ・修了書授与

年間を通してeラーニングで
学習ができます。



【新人看護職員からのメッセージ】

病院説明会に行った際病院の雰囲気や看護師の対応が好印象であった。看護によって患者の回復が目に見えることや実務研修があり知識と技術を習得することができるのが魅力だと思います。

地域密着型の病院で、患者さんに寄り添った看護をしたいと思ったため山梨病院を選びました。

病院説明会に行った際病院の雰囲気や看護師の対応が好印象でした。看護によって患者の回復が目に見えることや実務研修があり知識と技術を習得することができました。

地域密着型の病院で、患者さんに寄り添った看護をしたいと思ったため山梨病院を選びました。配属部署は多くの疾患と治療内容を知ることができます。新人研修では、注射や静脈留置針の挿入をみんなで練習したことが印象に残っています。

地域密着型であり患者に寄り添い安心する看護が提供できるため選びました内科では、看護技術の基礎を学ぶ事ができます研修では模型を使用しての採血が印象に残っています

地域密着型であり患者に寄り添い安心する看護が提供できるため選びました。内科では、看護技術の基礎を学ぶ事ができます。研修では模型を使用しての採血が印象に残っています。



【実地指導者からのメッセージ】

☆3階病棟☆

日常生活を支援する中で一人一人の患者様とじっくり関わっています。自分で動けるようになり、元気になって笑顔で退院する患者様の姿に看護する喜びを感じています。

☆4階病棟☆

様々な年代のスタッフがいるため相談しやすく急性期と慢性期と幅広いため色々な場面を経験できる。他職種と連携が取りやすく患者が安心して退院を支援しています。

☆5階病棟☆

消化器疾患を有する急性期の患者様が日々入退院されているため忙しさはありますが、スタッフ間の仲間意識が強く、助け合いながら仕事をし、やりがいを感じています。

☆6階病棟☆

6階病棟は急性期、乳腺外科や化学療法など多様な患者がおり、様々な看護を学ぶことができます。また、多職種との連携を大切にし、患者が安心して退院できるように関わっています。学生さんが学習に来た時また働きたいと思えるよう実地指導者として関わっていきたいと思います。

☆外来☆

外来では患者様が疾患を持ちながら生活を送るための看護について学びます。その人らしいセルフマネージメントを支える看護について一緒に考えましょう。

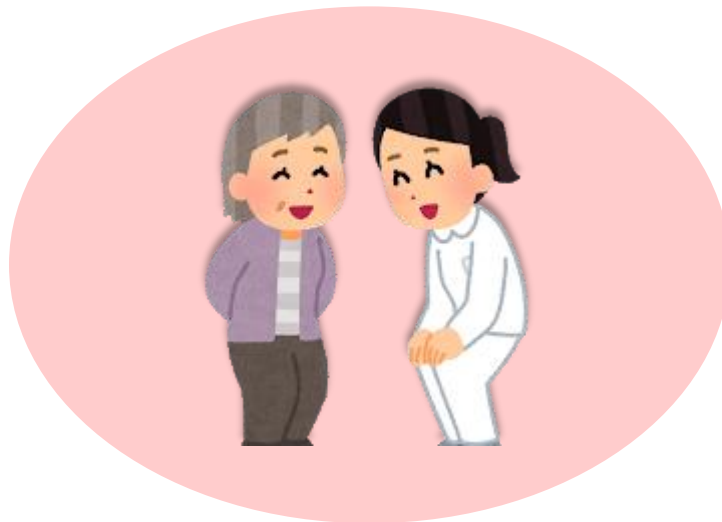
☆手術室☆

ベテラン看護師が多く、相談しやすい環境であり、一人ひとりに合ったきめ細やかな指導を行っています。医師やコメディカルも協力的でチームワーク抜群です！



【認定看護師紹介】

認知症看護認定看護師から皆さん



認知症の方が安心して入院生活、自宅での生活が送れるよう
こんな仕事をしています

➤ 院内の仕事

- 認知症の方が安心して入院生活を送れるよう病院スタッフ共に看護を行なっています。
- 認知症ケアチームと共に認知症の方の困りごとについて対応しています。
- 認知症の方のその人らしさを大切に、1人の人として権利を守ります。

➤ 退院への支援

- 認知症の方のご家族やケアマネジャー、施設の職員の方などと認知症の方に必要な看護や薬の管理などの情報交換を行ない、認知症の方が退院後も安心して生活が送れるよう支援させていただきます。
- 退院後同行訪問を行ない、認知症の方の困りごとに対応させていただきます。

担当の先生と共に
**私たちががん化学療法看護
 認定看護師が、**
 みなさまをサポートします。

つらい症状がある

吐き気 食欲がない
 しびれる だるい
 皮膚が荒れる
 見た目が気になる
 など

不安なことがある

気持ちが落ち込む
 イライラする
 眠れない
 やる気がでない
 など

お金のことが心配

治療費はどのくらい
 かかるのかな？
 仕事は続けられるの
 かな？
 など

大切な方への悩み

家族などへ自分の気持ちを
 どのように伝えればいいのか？
 子供とどう接したらいいのか？
 など

これからの心配事

どのように治療を選択したら
 いいのか？
 治療はいつまで続くのか？
 家で過ごしたいけれど...
 など



お困りのことがありましたら、
 お近くの看護師に声を掛けてください。

JCHO山梨病院 看護部



**感染管理認定
 看護師**

小林留美



患者様やご家族・職員の方など、当院を利用するすべての方
 を感染から守るため、「**感染しない、させない、拡げない**」
 をモットーに活動しています

その1

新型コロナウイルスや/ロウウイルス・インフルエンザなど)の感染対策



その3

他施設への
 研修・介入
 ・相談

その2

感染症の疑い症
 例や濃厚接触者
 の対応



その4

在宅での感染対策
 (家庭内で感染症が出
 た!どうしよう?)

その5

院内ラウンドと職員
 のへ院内研修など

感染のことなら、何でも気軽にご相談ください☺

相談先：地域医療連携室

皮膚・排泄ケア特定認定看護師って 何する人？

褥瘡(床ずれ)やストーマ(人工肛門)、失禁ケアのほか、がん化学療法や放射線療法など、治療に伴うスキンケアサポートを行っています。医師の協力のもと、褥瘡などに対して専門的な処置(特定行為)も行っています。

誰でも相談できる？

当院に入院中の患者様やご家族の方だけでなく、当院を利用されている患者様やご家族からの相談も受け付けています。いつでもお気軽にご相談ください。

皮膚・排泄ケア認定看護師 桑田 幸子

いつでも相談ください



スキンケア外来
毎週第2火・水曜日にスキンケア外来を開設しています。
予約制となっていますので、当院スキンケア外来まで連絡をお願いします。

同行訪問について
2020年より、褥瘡やストーマケアに対して、認定看護師による同行訪問を行っています。ご利用ください。

外部研修会について
褥瘡予防対策や褥瘡ケア、ストーマケアの研修を受け付けています。

相談先: 地域医療連携室

糖尿病看護認定看護師をご活用ください。



- * フットケア 医師と連携し爪切りや角質除去を行います。
- * グラインダーを使い、厚くなった爪や角質を整えます。治療が必要な場合は皮膚科(水曜日のみ)と連携します。



- * 血糖測定やインスリン注射、内服管理のお手伝いをします。
- * 患者のADLや生活状況を踏まえた血糖パターンマネージメントを行い、低血糖やシックデイを含めた糖尿病薬の管理支援を行います。



- * 医師・看護師・栄養士・薬剤師・検査技師・理学療法士とチームで支援いたします。
- * 患者様と家族の糖尿病に関する困りごとをご相談ください。



- * 糖尿病に関する知識の伝達を行います。
- * 事例検討など患者・家族・施設での問題を解決できるよう一緒に考えます。

相談先: JCHO山梨病院 内科外来 ☎ 055(252)8831